

水野家と新宮歴史知って

11/8 読まね地域

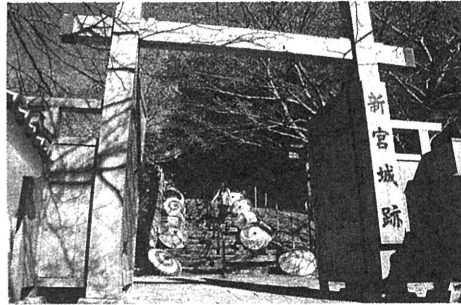
入城400年記念あす、10日講演や催し

新宮市の新宮城に、領主だった水野家が入って400年になるのを記念したイベント「水野家と新宮城下町」(実行委など主催)が9、10の両日、国史跡・新

宮城跡を中心に開かれる。7日には水野家の子孫でドイツ人のモニカ・水野・ベロイターさん(58)が県庁の仁坂知事を表敬訪問し「伝統ある新宮の街や文化を知ってほしい」とイベントをPRした。

新宮城は、熊野川河口に築かれた紀州藩新宮領の統

水野家の新宮入り400年を記念して様々なイベントが行われる新宮城跡(新宮市で)



治拠点。市などによると、1600年に浅野家が領主

となり、浅野家が三原(広島県)に移ったのに伴い19年、初代・水野重仲が新宮入り。以後、水野家が10代にわたって治めた。

9日は午後1時から市役所別館でシンポジウム「水野家入部と新宮の発展」があり、水野宗家20代当主の勝之氏と紀州徳川家第19代当主の宣子氏が基調講演。続いて「歴史を活かしたまちづくり」のテーマでパネルディスカッションを行う。

10日は午前9時半から、時代衣装を身につけた水野家ゆかりの人たちによる「新宮城入城ウォーク」があり、城跡では、13のブラスが並ぶ大物産展、観光ガイドによる無料ツアー(約35分)、スポンジの刀を使ったチャンバラ合戦、ステージイベントも開かれる。

イベントの開催に合わせて、10日午後1時、市役所で広島県三原市と姉妹都市提携の調印式が行われる。新宮領主から三原に移った浅野家の縁で提携が実現。今後、観光や教育、スポーツなどで交流を進め、災害時の相互支援も強化する。イベントの問い合わせは新宮市商工観光課(0735・23・3357)へ。